

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成22年度～平成26年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひだか） 日高森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 ひだかなんぶ 日高南部森林管理署																
完了後経過年数	5年	管 理 主 体	日高南部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部から南部に位置し、日高振興局管内の4町に所在する国有林野約131千haを対象としている。</p> <p>人工林面積はその約10%にあたる約13千haを占め、そのうち間伐の対象となる林分が約87%となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域内の国有林野は、水源かん養を目的とした保安林を主体にほぼ全域が保安林に指定されており、地域の生活用水及び農業用水を供給するほか、水力発電用のダムが多く立地していることから水源林としての重要な役目も担っている。また、カムイエクウチカウシ山、ヤマだけかむいだけ、神威岳といった標高1,500mを超える高峰が連なり、豊かな森林景観等の観光資源にも恵まれていることから、登山等のレクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、本地域では急峻な日高山脈から流れ出る各河川に沿って農業が、下流の沿岸部にコンブ等の沿岸資源に依存した水産業が重要な産業となっており、河川の水質を巡って森林整備に対する要望が高まっている。</p> <p>また、日高山脈稜線部は優れた自然環境を有していることから、日高山脈生態系保護地域、日高山脈襟裳国定公園に指定され、自然環境の維持が図られている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、森林の二酸化炭素固定機能等の多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>121 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>6,248 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>39.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>0.8 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,870,534 千円（税抜き 2,720,452 千円） （平成21年度の評価時点 2,866,290千円（税抜き2,729,800千円））</p>			森林整備	更新	面積	121 ha		保育	面積	6,248 ha	路網整備	開設	延長	39.6 km		改良	延長	0.8 km
森林整備	更新	面積	121 ha																
	保育	面積	6,248 ha																
路網整備	開設	延長	39.6 km																
	改良	延長	0.8 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和元年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価時点との便益及び費用の差については、補正予算により事業量が増加したことにより便益が増加、事業量の増加に伴って費用も増加したが、林道の開設路線の多くがより低コストの林業専用道へ変更したことにより費用の増加が抑えられたことが原因と考えられる。</p> <p>総 便 益（B） 28,656,737 千円（平成21年度の評価時点：15,657,179 千円※） 総 費 用（C） 5,646,813 千円（平成21年度の評価時点：3,241,546 千円※） 分析結果（B/C） 5.07（平成21年度の評価時点：4.83 ※） ※平成21年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減が図られるとともに、木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社</p>																		

	会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理されており、林況は良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに適した森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、安定的に推移しており、全国有数の生産頭数を誇る軽種馬をはじめ、肉用牛の生産や畑作農業、沿岸部ではコンブ漁に代表される漁業が盛んに営まれている。</p> <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中、林業就業者数は、平成17年度の161人から平成27年度には201人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べて60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>また、道内では大型のバイオマス発電工場が次々に稼働し、産業用資材の需要の高まりによって、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、益々地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが求められる。さらに、森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により 森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>にいかつぶ</small> (新冠町)</p> <p>国有林は当町に所在するダムの上流部を占めており、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう、また、地元の雇用対策に効果が見込まれるため事業の継続を要望する。</p> <p><small>うらかわ</small> (浦河町)</p> <p>町内の森林面積のうち40%以上が国有林であり、森林整備が適切にされたことにより、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。</p> <p>今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(えりも町)</p> <p>保安林整備事業により海岸林の整備を継続的に実施したことにより、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>今後も事業を継続し、人工林から元々あった天然林への誘導を要望する。</p> <p><small>しん</small> (新ひだか町)</p>

	<p>国有林は、新ひだか町に所在するダムの上流部を占めており、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できます。</p> <p>今後も森林の持つ多面的機能が発揮できるよう、また、地元の雇用対策に効果が見込まれるため事業の継続を要望いたします。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能の発揮が求められている。更に、山地保全や地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 路網整備においては、本地域特有の急傾斜地形及び脆弱な地質に留意した工種及び作業仕様による開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 また、これらの直接的な効果のほか、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じて地域の基幹産業である農業や漁業の振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：日高森林計画区(日高南部森林管理署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,726,433	
	流域貯水便益	2,139,415	
	水質浄化便益	7,566,422	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,652,612	
環境保全便益	炭素固定便益	2,092,758	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	136,060	
	木材利用増進便益	292,684	
	木材生産確保・増進便益	856,400	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,642	
	森林管理等経費縮減便益	54,479	
	森林整備促進便益	1,135,832	
総 便 益 (B)		28,656,737	
総 費 用 (C)		5,646,813	
費用便益比	$B \div C = \frac{28,656,737}{5,646,813} = 5.07$		

森林環境保全整備事業 日高森林計画区(日高南部森林管理署) 事業概要図

地拵



下刈



保育間伐



ヤルカラウシ林道 新設工事



西の沢林道アイマベツ線 新設工事

